令和2年度法人本部事業報告書

1. 概況報告

平成28年度に認定こども園の運営を開始して5年目の今年度は、仙北市から新たに「にこにこことも園」と「ひのきないこども園」2園の事業を引き継ぎ、4月から4園の運営となりました。まずは、この新たな2園の運営がスムーズに行なうことができるよう、市の協力をいただきながら取り組み、保護者のご協力と職員の努力により、大きな事故やトラブルもなく運営することができました。

また、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大は国内でも広がり、国は緊急事態宣言を発令し、不要不急の外出の自粛や密閉、密集、密接の「三つの密」の回避を呼びかける等、感染拡大防止及び感染症の撲滅に向けた取り組みを続けています。当法人でも感染症対策を講じ、各こども園においての各種行事等に取り組んだ一年間でありました。

一方で、仙北市からの補助事業により、コロナ禍で外出自粛による子どもたちのストレス軽減、運動不足を解消するために4園に屋内外の遊具を整備することができました。

また、法人運営の指針となる基本理念が未制定でありましたので、制定検討委員会を設置し法 人としての基本理念、方針を決定することができました。今後、法人全体で共有し運営に取り組 んでまいります。

利用定員に対する充足率、重点的に取り組んだ事業について以下のとおり報告します。

(1)こども園の運営(利用定員)

- ・だしのこ園 利用定員 1号認定9人、2号・3号認定116人、計125人
 利用定員に対する充足率 1号認定63.9%、2号・3号認定97.1%
- ・神代こども園 利用定員 1号認定11人 2号・3号認定110人 計121人
 利用定員に対する充足率 1号認定51.5%、2号・3号認定94.5%
- ・にこにここども園 利用定員 1号認定6人、2号・3号認定104人、計110人 利用定員に対する充足率 1号認定33.3%、2号・3号認定80.7%
- ・ひのきないこども園 利用定員 1号認定6人 2号・3号認定44人 計50人 利用定員に対する充足率 1号認定0%、2号・3号認定69.1%

以下、一時預かり事業及び地域子育て支援拠点事業(子育て支援ルーム)の実績について は、各園の事業報告書をご覧ください。

2. 本部の運営並びに事業の状況

(1) 職員の人材確保、育成に向けた取り組み

人材確保については、今年度、新たに保育教諭37名、栄養士2名、調理員4名、用務員1名 を採用し、市からは園長1名のほか、保育教諭3名を派遣していただきました。

職員の育成については、それぞれの職員に研修会を受講していただいたほか、処遇改善加算 IIに係る研修機会を確保し、研修意欲を高め、職員が積極的に研修に取り組む環境づくりに努 めました。 職員研修の参加実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

(2) 子育て支援拠点施設としての活動について

地域に開かれた子育て支援拠点施設の活動場所として、神代こども園旧幼稚園舎の一部改修 を行いました。今後各種取り組みへの活用に努めてまいります。

また、だしのこ園においては、要望のあった「保育室ねむねむのき」へ給食の提供を開始し、 保育者の負担軽減を図ることができました。

(3)組織の強化について

定期的な園長会議を開催し、本部と各園との連携体制の強化を図り、法人及び園の情報を共有することができました。

また、職員への給与等の振込について、21 名の職員から協力をいただき指定銀行への変更を お願いし、振込手数料の節減に努めました。

(4) 施設の維持管理について

各施設での修繕については、迅速に対応し安全安心を最優先した生活環境の提供に努めました。

3. 理事・監事・評議員

令和2年度の理事(7名)、監事(2名)、評議員(9名)は次のとおり。

理事長 武藤 清茂

理 事 坂本 佐穂、 眞崎 勲、 伊藤 キエ子、 佐川 俊也、 伊藤 州子、 川井 朋子

監事田口和典、藤村好正

評議員 赤上 マツ、 草彅 悟、 加藤 隆政、 糸井 ミエ、 高橋 日子、 佐藤 節子、 中本 義範、 羽川 茂幸、 大沢 純子

4. 評議員会の開催状況

第1回 定時評議員会 令和2年6月23日(火) 10時00分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター (農林研修室)

評議員出席者7名/定数9名·監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

第1号議案 平成31年(令和元年)度計算書類及び財産目録の承認について(原案承認) 平成31年(令和元年)度事業報告 監査報告(決算監査)

〈報告〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果に基づく指摘事項の改善状況について

- (4) 理事長専決事項について
- (5) 理事会の決議事項について
- (6) 予算の流用について
- (7) 予備費の使用について
- 第2回 臨時評議員会 令和3年3月11日(木) 10時00分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター (農林研修室) 評議員出席者8名/定数9名・監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

第2号議案 定款の一部改正について (原案承認)

第3号議案 役員の欠員に伴う役員の選任について (原案承認) 〈報告〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について
- (4) 理事会の決議事項について
- (5) 予備費の使用について

5. 理事会の開催状況

第1回(定例会) 令和2年6月5日(金) 10時00分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター (農林研修室)

理事出席者7名/定数7名・監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

第1号議案 平成31年(令和元年)度事業報告及び収支決算の承認について(原案承認) 監査報告

第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について (原案承認)

第3号議案 定時評議員会の招集について (原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1)経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果に基づく指摘事項の改善状況について
- (4) 理事長専決事項について
- (5)予備費の使用について
- 第2回(臨時会) 令和2年10月13(火) 10時00分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター (農林研修室)

理事出席者6名/定数7名・監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

- 第4号議案 令和2年度10月補正予算について(原案承認)
- 第5号議案 給与規程細則の一部改正について (原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1)経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について
- (4)予備費の使用について
- 第3回(定例会) 令和2年11月27日(金) 10時00分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター (農林研修室)

理事出席者6名/定数7名・監事出席者1名/定数2名

〈議事〉

- 第6号議案 有期契約職員就業規則の一部改正について (原案承認)
- 第7号議案 給与規程の一部改正について (原案承認)
- 第8号議案 令和2年度11月補正予算について(原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1)経過報告
- (2) 理事長専決事項について
- 第4回(定例会) 令和3年2月25日(木) 9時30分

開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター(農林研修室)

理事出席者7名/定数7名・監事出席者2名/定数2名

〈議事〉

- 第9号議案 定款の一部改正について (原案承認)
- 第10号議案 だしのこ園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)
- 第 11 号議案 神代こども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)
- 第 12 号議案 にこにここども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)
- 第13号議案 ひのきないこども園園則(運営規程)の一部改正について(原案承認)
- 第14号議案 準職員就業規則の制定について(原案承認)
- 第15号議案 就業規則の一部改正について (原案承認)
- 第16号議案 給与規程の一部改正について (原案承認)
- 第17号議案 旅費規程の一部改正について (原案承認)
- 第18号議案 育児休業等に関する規則の一部改正について(原案承認)
- 第19号議案 介護休業等に関する規則の一部改正について (原案承認)
- 第20号議案 職務に専念する義務の特例に関する規程の一部改正について(原案承認)
- 第21号議案 令和2年度資金収支補正予算について(原案承認)
- 第22号議案 令和3年度事業計画及び令和3年度資金収支予算について(原案承認)

第23号議案 園長の退職願いに係る解任について (原案承認)

第24号議案 役員の欠員に伴う役員候補者の選考について(原案承認)

第25号議案 園長の選任について (原案承認)

第26号議案 園長の選任について (原案承認)

第27号議案 臨時評議員会の招集について (原案承認)

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1)経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について
- (4)予備費の使用について

6. 役員会の開催状況

第1回 令和2年7月2日(木) 10時00分 開催場所 仙北市田沢湖総合開発センター(農林研修室) 理事出席者6名・監事出席者1名

〈審議〉

(1)令和2年度職員採用試験(保育教諭)について (採用予定数の決定、試験方法及びスケジュール等の決定)

7. 幼保連携型認定こども園の指導監査について(秋田県教育庁南教育事務所)

- ・場所及び日時 だしのこ園:令和2年11月12日(木) 9時30分 神代こども園:令和2年11月12日(木) 13時30分
- ・指導監査の結果(通知) 教南-1774 令和3年3月15日
- ・内容「監査実施施設については、別紙のとおり改善を要する事項が認められましたので、令和 3年3月25日(木)まで改善状況について報告してください。」
- ・処理顛末 令和3年3月22日付け、社福は仙収第569号において改善状況を報告する。
- ・場所及び日時 にこにここども園:令和2年12月3日(木) 9時30分 ひのきないこども園:令和2年12月17日(木) 9時30分
- ・指導監査の結果(通知) 教南-1774 令和3年3月15日
- ・内容「監査実施施設については、文書指摘事項は認められませんでしたので通知します。」

8. 幼保連携型認定こども園の指導監査について(仙北市社会福祉課)

- ・ 今年度は実施されませんでした。次回は、令和3年度実施予定です。
- 9. 子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設の指導監査(確認監査)について (仙北市市民福祉部子育て推進課)
 - ・今年度は実施されませんでした。

10. 監事による監査について

①決算監査 令和2年5月20日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所田沢湖第2庁舎 法人事務室

内容: • 平成 31 年 (令和元年) 度事業報告書

- ・平成31年(令和元年)度計算関係書類、財産目録及び付属明細書
- ・決算監査資料 (財務諸表の相互の関係、チェックシート)

意見: ○事業報告等の監査結果

「事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しており、理事の職務 の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められな い。」

○計算関係書類及び財産目録の監査結果

「計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況 を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。」

②定期監査 令和2年8月7日(金) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所田沢湖第2庁舎 法人事務室

内容:令和2年度第1四半期の業務執行状況及び会計処理について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証 憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

③定期監査 令和2年11月20日(金) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所田沢湖第2庁舎 法人事務室

内容:令和2年度第2四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証 憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

④定期監査 令和3年2月3日(水) 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所田沢湖第2庁舎 法人事務室

内容:令和2年度第3四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見:「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証 憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

⑤随時監査 令和2年9月15日(火) 出席者 監事2名

開催場所 10時00分 にこにここども園

13時30分 ひのきないこども園

内容:施設の視察をしたほか、園長より施設の管理運営体制、防災対策、職員の処遇等について説明を受ける。

監査意見:「各園とも明確な経営方針のもとに適切な管理運営が行われているものと認める。」

11. 保育サービス向上委員会の開催

法人が運営する認定こども園の教育・保育の充実や保育の質の向上を図るため委員会を設置 し、各園保護者の代表者等 14 名を委嘱して開催しました。

第1回開催 令和2年10月26日(月) 18時00分 出席者13名/委員14名 開催場所:だしのこ園(会議室)

内容:ホームページのリニューアルに関して、ホームページの構成内容、使用方法などについて協議しました。

第2回開催 令和3年2月24日 (水) 18時00分 出席者14名/委員14名 開催場所:神代こども園(子育て支援ルーム)

内容:ホームページのリニューアルについてと提案事項について協議しました。

12. 安全衛生委員会の開催

職員の安全衛生管理活動の円滑な推進を図るため委員会を設置し、衛生推進者等 13 名で構成し、開催しました。

第1回開催 令和2年10月29日(木) 16時00分 出席者11名/委員13名 開催場所:仙北市役所田沢湖第2庁舎 法人事務室

内容:令和2年度ストレスチェック結果とメンタルケア及び職員の健康づくり対策について協議しました。

13. 基本理念制定検討委員会の開催

当法人の運営指針となる基本理念を定めるため委員会を設置し、委員 12 名で構成し、開催しました。

第1回開催 令和2年11月18日(水) 10時00分 出席者11名/委員12名 開催場所: 仙北市田沢湖総合開発センター(談話室)

内容: 基本理念、方針(案)について協議し、委員全員より提案をいただくこととしました。

第2回開催 令和2年12月18日(金) 10時00分 出席者11名/委員12名 開催場所:仙北市田沢湖総合開発センター(談話室)

内容: 基本理念、方針(案)について検討、協議し決定することができました。

14. 資金収支決算(別紙のとおり)

令和2年度 幼保連携型認定こども園 だしのこ園事業報告書

1. 概況報告

変化する社会の状況を見極めながら、子どもたちの育むべき力を明確にして保育につなげ、その中で保育の評価改善を意識することで保育者の質を高めてきた。コロナ禍の中、保育環境を創意工夫する力、改善していく力も必要になり、園全体で考え、共通理解を図りながら、子どもの健やかな成長を第一に考えた保育を行ってきた。

また、ニーズの高い子育て支援については、園開放も含めて未就園児の親子が気軽に 利用できる雰囲気を大切に、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしてきた。 コロナ禍で地域との交流や保護者会活動は限られたものとなったが、小学校とは連 携を図りながら交流を継続し、良い関係で接続ができている。

経営の方針を次の5項目にして運営してきた

- ①子どもの遊びの充実~遊びがより楽しくなるための環境や援助を考える中で、子 どもの心の育ちを大事にしてきた。考える、工夫する、相談 するなど言葉の伝え合いも意識して関わってきた。
- ②保育者の研修の充実~園内研修は、指導主事からの助言から研修の取り組み等の 改善を図り、より充実した研修を目指してきた。
- ③家庭との連携と子育て支援の工夫~多様化する保護者ニーズの中で大事にすべき ことを見極め一人一人の保護者との連携を大事にしてきた。 保護者会活動では保護者の方々が協力的に園を支えてくれ ており、感謝している。
- ④小学校との連携と地域との交流~小学校との連携接続については、年間計画のもとで実施しており、担当職員が窓口となり、連携・連絡がスムーズに行われている。園児、児童の交流も継続している。地域との交流についてはコロナ禍の中、できる範囲での参加となったが、子どもたちとっては良い経験となった。
- ⑤安全衛生の意識向上と防災教育の推進〜毎月の避難訓練と安全指導については、 担当者一人一人がその必要性の意識をもち、様々な想定を し、工夫して実施できるよう指導を心がけた。また、衛生対 策についてはコロナウィルス感染予防対策を園全体で意識 し、実践してきた。様々な感染症対応についても実践研修を 全職員が行うことで園全体の意識の向上になっている。

2. 利用定員

年 齢	0 歳児	1 歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2 · 3 号認定	12人	16人	20人	21人	27人	20人	116人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
1号認定	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	69
2・3 号認定	109	109	112	112	113	111	112	112	112	115	117	117	1351
合 計	113	114	118	118	119	117	118	118	118	121	123	123	1420

4. 月別活動記録(園児分)

月日	活動内容	成果	月日	活動内容	成果
4月8日	入園式	入園を祝う	11月5日	焼いも会	食育
5月30日	第1回除草作業	保護者会活動	11月6日	防火パレード	防災、地域交流
7月5日	パントマイム公演	情操教育	11月16日	小学校一年生お里帰り	園小交流
7月17日	夏まつり楽しみ会	季節の行事	11月28日	発表会	表現を楽しむ
7月20日	夏まつり	家族の触れ合い	11月30日	小学校元気フェス招待(5歳児)	園小交流
7月20日 21日 22日	フリー参観	成長を喜ぶ	12月1日	わんぱくフェスタ (祖父母招待)	祖父母と交流
8月26日	4・5歳児園外保育	地域を知る	12月8日	栄養出前講座(5歳児)	食育
8月26日	3歳児給食試食会	親子で食育	12月12日	以上児ケーキ作り	保護者学習会
8月30日	第2回除草作業	保護者会活動	12月25日	クリスマス楽しみ会	季節の行事
9月17日	不審者対応避難訓練	防犯教育	1月26日	冬を楽しむ会	自然を楽しむ
9月17日	第3回除草作業	保護者会活動	1月29日	ノーザンハピネッツキャラバン (5歳児)	ダンスを楽しむ
9月26日	親子運動会	運動を楽しむ	2月2日	豆まき会	季節の行事
9月30日	学校安全派遣事業(4、5歳児)	安全教育	2月10日	保育参観(1.4.5 歳児)	成長を喜ぶ
10月2日	4歳児園外保育	地域に親しむ	2月18日	母の会交通安全教室(5歳児)	交通安全を知る
10月2日	2歳児給食試食会	親子で食育	2月20日	保育参観(0.2.3 歳児)	成長を喜ぶ
10月6日	3歳児園外保育	自然に親しむ	3月3日	ひなまつりお茶会(5歳児)	季節の行事
10月6日	5歳児給食試食会	親子で食育	3月5日	年長児とのお別れ会	園児の触れ合い
10月15日	5 歳児園外保育	自然を楽しむ	3月10日	5 歳児祖父母参観日 (卒園式予行)	成長を喜ぶ
10月22日	総合避難訓練	危機管理	3月13日	令和2年度卒園式	成長を喜び合う
10月29日	5 歳児園外保育	自然を楽しむ	3月19日	進級を祝う会	成長を喜び合う
10月29日	4歳児給食試食会	親子で食育			
年間	避難訓練・安全指導・誕生会				

5. 職種別職員配置状況

(令和3年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
									未归即	
正規職員	1	2	1 3			1		1		18
有期職員			9	6	1	2	2			2 0
委託職員									3	3
合 計	1	2	2 2	6	1	3	2	1	3	4 1

- *地域子育て支援事業 配置職員 2名
 - 一時預かり事業 配置職員 2名

特別支援 配置職員 1名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間 : 7時30分~18時30分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定 : 8 時 30 分~15 時 30 分	早出 1: 7時30分~16時15分
保育標準時間認定 : 7時 30分~18時 30分	早出 2: 8時00分~16時45分
保育短時間認定 : 8時30分~16時30分	日勤 : 8時30分~17時15分
	遅出1 : 9時00分~17時45分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間	遅出2 : 9時45分~18時30分

7. 職員研修実績

- (1) 幼保推進課、各保育協議会等の主催による園外研修及びキャリアアッップ研修はコロナウィルス感染対策で中止になったものも多く、今年度の参加は延べ人数81人であった。オンラインでの研修には積極的に参加するようにした。研修後は園長へ口頭での復命を行うことで、研修をより有意義なものになるようにした。書面での復命はもちろんであるが、更に職員会議でも復命して、他の職員への周知及び知識の習得につなげるようにした。
- (2) 園内研修では、月1回出来るだけ多くの職員が参加できるよう研修時間の確保を工夫し、今年度の重点『自分の気持ちを言葉で表現しようとする意欲や態度を育む』から、各年齢の具体的な目指す姿をあげ、取り組むことで研修の充実につながった。研修の気づきから改善、工夫していくことで職員の意識も良い方向へ変化している。

8. 学校評議員会・職員会議・給食会議等実施内容

- (1) 学校評議員会 定例会議 (6月・3月)、外部評価への協力
- (2) 職員会議 定例会議(毎月)、リーダー会議(随時)、各委員会会議(随時)、行事等の会議

- (3) 給食委員会 ~ 毎月開催
- (4)特別支援委員会

毎月開催、園内支援研修会年2回(指導主事を要請)、ケース会議(随時) 事例研修等

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練・安全指導(毎月)、総合避難訓練(6月、10月)、安全点検(毎月) 職員の不審者対応訓練(1回は仙北警察署との訓練)や発電機使用の訓練

(2) 健康管理

園児:内科検診(6月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時) 3歳以上児聴力・視力検査

- ・3歳児、4歳児~聴力7月、視力11月
- ・5歳児~聴力7月、視力6月※小学校に於いて検査

職員:健康診断(年1回)、全職員腸内細菌検査(年2回)

給食関係者及び乳児担当者腸内細菌検査(毎月)、ノロウイルス検査(年6回)

(3) 衛生管理

園内清掃(毎日)・保育室等消毒(週1回)、園外(動物の糞対策)、防虫等

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、 116人

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、 44人

(3)連携施設(ねむねむのき)

延べ利用者人数は、 11人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、担当職員2名を配置して、子育て中の保護者の交流の場として活用されている。だしっこルーム26回、利用者92組、延べ200人。園開放10回、利用者22組延べ51人。

歯科衛生士による歯磨き指導は好評で熱心に聞いていた。また、クッキングや制作等も 計画し、親子で楽しむことのできる場となっている。

家庭で育児をしている母たちは、同年齢の親子と触れ合う機会が少なく、不安やストレスも抱えがちなので、気軽に足を運べる場があることは、母たちの安心安定にもつながり、互いに話をすることで一人ではない、という思いがもてる場にもなっている。

令和2年度 幼保連携型認定こども園 神代こども園事業報告書

1. 概況報告

未来を切り拓いていくべく、資質・能力を育てていくため、子どもが主体的に遊びに取り組み、心や体を動かし思考力や想像力を培っていく環境つくりをめざした。

コロナウイルス感染防止のため、様々な制限を余儀なくさせられたが、子どもの育ちに必要な経験は逃さず、できうる最大限の工夫をして行った。また、そこには保護者の理解が不可欠であり、密接な連絡をとることで理解は深まった。今後も園は、教育及び保育の内容について、保護者の理解と協力を得るようにし、相互理解に努め子どもの育ちを支えていく。

(1) 教育・保育部門

重点目標を『子ども自ら取り組む中で、感じたり、気付いたり、考えたり、できるようになったりする』とし、子ども一人一人を尊重し、思いや願いを深く読み取ることに努めながら、一人一人に育みたい力を明確にした、実践と評価に基づく指導計画の改善に努めている。

(2) 給食部門

食は健やかな子どもの育成の基盤と捉え、食べる楽しみと命の尊さを伝えながら、おい しく栄養バランスに考慮した給食を提供するようにした。又、アレルギー児に対しては家 庭と連携し、安全に配慮しながら除去食を提供してきた。

誤食をおこさないため、行程の中で5段階の【確認】を行っている。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	5人	11人
2 · 3 号認定	14人	14人	15人	20人	27人	20人	110人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
1号認定	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	68
2・3 号認定	103	101	101	103	101	102	103	105	106	107	108	108	1248
合 計	108	106	106	108	107	108	109	111	112	113	114	114	1316

4. 月別活動記録(園児分)

月日	活動内容	成果	月日	活動内容	成果
4月 1日	コロナ禍の保育始まり		11月5,6日	フリー参観日(3,4)	子の成長相互理解
4月 8日	入園式	入園を祝う	11月 6日	園外保育(5)大森山動物園	動物の生態、グループ行動
5月19日	さつまるが描述	生長を楽しみに	11月 9日	総合避難訓練	危機管理
6月 13日	保育参観日(1.3.4)	子の成長相互理解	11月10,11日	フリー参観日(5)	子の成長相互理解
6月19日	内科検診		11月13日	内科検診Ⅱ	
6月20日	保育参観日(0.2.5)	子の成長相互理解	12月 2日	発表会予行~祖父母参観日	
6月25日	総合避難訓練	危機管理	12月 5日	生活発表会(2.3.4.5)	表現を楽しむ
7月 1日	歯科検診		12月15日	人形劇鑑賞	心情豊かに
7月 3日	園外保育(4.5)横手	宇宙への興味	12月24日	クリスマス会	
7月 8日	園外保育(3)	季節を感じて	1月14日	そりすべり遠足(5)	自然に親しんで
7月22日	神代っこ夏まつり		1月26日	そりすべり遠足(3)	自然に親しんで
8月 1日	聴力視力検査(以上児)		2月 2日	豆まき会	日本古来の行事で親しむ
9月16日	地方気象台講演会	自分の命を守る	2月 10日	保育参観日(5) そりすべり遠足(3)	
9月24日	さつまいも掘り	収穫を喜ぶ	2月13,20日	保育参観日、進級説明会	子の成長相互理解
9月25日	園外保育(4)	季節を感じて	2月15,19日	運動遊びを楽しむ会	運動を楽しむ
10月3日	親子運動会	親子で運動を楽しむ	2月27日	R 3. 入園説明会	園生活理解
10月7日	園外保育(3)農業科学館	果樹の生長を知る	3月 3日	ひなまつりお茶会、ひなまつり会	お茶の作法を知り味わう
10月16日	公開保育研究会		3月10日	お別れ会	成長を喜び合う
10月24日	親子で運動遊び	保護者学習会	3月15日	卒園式予行。祖父母参観日	
10月29日	園外保育(2)ラベンダー園	季節を感じて	3月18日	卒園式	卒園を祝う
10月30日	園外保育(4.5)農業科学館	果樹への関心	3月19日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施~誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 保護者会環境整備(6月、7月、9月)

5. 職種別職員配置状況

(令和3年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医	合 計
									薬剤師	
法人職員	1	2	1 5		1	1		1		2 1
有期職員			5	6		1	2			1 4
委託職員									3	3
合 計	1	2	2 0	6	1	2	2	1	3	3 8

^{*}地域子育て支援事業 配置職員 1名

一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間 : 7時30分~18時30分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定 : 8時 30分~15時 30分	早出 1: 7時30分~16時15分
保育標準時間認定 : 7時30分~18時30分	早出 2: 8時00分~16時45分
保育短時間認定 : 8時30分~16時30分	日勤 : 8時30分~17時15分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間	遅出 : 9時45分~18時30分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

積極的に参加し資質の向上に努めたいと願うも、コロナウイルス感染防止のため、予定 した研修は軒並みできなかった、参加研修回数53回、延べ参加人数100名。

(2) 園内研修

テーマを「主体的に遊びに向かう子どもをめざして」とした。記録や事例をもとに、子ども一人一人の興味関心はどこにあり、何に意欲的に取り組もうとしているのか、保育者同士で語り合い、具体的に捉え、環境の構成や援助を意図的・計画に実践するよう努めた。

園内公開保育を3回実施、ワークショップ型による協議を行った。又、毎月の園内研修では年齢別、グループ別に話し合い、保育の見直しと、よりよい援助のあり方について研修を深めた。また、仙北市公開保育研究会の会場園として保育を公開し、成果と課題がより明確になった。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を3回、3回目は学校評価委員会を兼ねて行う。委員は学校評価委員を兼ねるということで、自己評価を基に貴重な提言があり、園運営の改善につなげることができた。コロナウイルス感染拡大防止のため、入園式、卒園式、夏祭り、運動会への招待は行わなかったが、10月の公開保育研究会にはおいでいただき、貴重な意見をいただく。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成~園長、副園長、主査保育教諭、特別支援コーディネーター)

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月、11月)、安全点検、安全指導、

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保険調査、尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の病気の流行期には毎日玩具等)

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、63人

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、6人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週火曜日 9 時 30 分から 11 時 30 分まで「わいわい広場」を開催した。子育て中の保護者の交流の場として活用された。

旧幼稚園舎をリフォームし、1室に支援室を移設した。中央棟から離れこぢんまりした 空間の良さや、園舎近くに駐車することができる利便性もよい。加えて積極的に情報を発 信することで参加者は増え、必要とされていることを感じた。

37回開催。利用者人数は、延べ270人(134組)であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。
- (2) 職員倫理綱領、虐待防止規定を順守する。
- (3) 園内虐待防止委員会を機能させる。
- (4) 保護者・第三者・職員による保育サービス適正化委員会を開催する。

令和2年度 幼保連携型認定こども園 にこにここども園事業報告書

1. 概況報告

運営が市から「はなさき仙北」の法人にかわり、職員も社協から「はなさき仙北」の法人職員となり、また市の派遣職員も加わり、新たな職員体制でスタートした。当初は保育観の違いなどで温度差が見られたが、子どもたちの育ちを第一に考えることで思いを出し合い、話し合いを重ねることにより、共に学び合って理解を深め保育の質の向上につながった。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、いろいろな活動の見直しが行われ、その中でできることは何かを考え職員、保護者と連携を取りながら進めてきた。これからも留意しながらいろいろな活動に取り組んでいく。

(1) 教育・保育部門

園目標を「心豊かにたくましく広がれにこにこの輪」として目の前にいる子どもとともに遊び、内面を読み取り子ども理解に務め、より良い保育の環境の構成を考えながら質の向上を目指した。

(2) 給食部門

栄養価を満たすことはもちろん体も心も育まれるようにという願いをこめて給食を提供している。旬の食材を使い、地元の食材を使って「安全でおいしい給食」を目指している。又、アレルギー児に対しては家庭と連携し、安全に配慮しながら除去食を提供してきた。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				2人	2人	2人	6人
2 · 3 号認定	9人	15人	20人	20人	20人	20人	104人

3. 認定別・月別園児数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
1 号認定	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
2・3 号認定	81	82	83	83	83	82	84	85	84	86	87	87	1007
合 計	83	84	85	85	85	84	86	87	86	88	89	89	1031

4. 月別活動記録(園児分)

月日	活動内容	成果	月日	活動内容	成果
4月 9日	開園式、入園式	開園、入園を祝う	12月15日	ミニ発表会	表現を楽しむ
5月27日	さつまいお描え	生長を楽しむ	12月24日	クリスマス会	季節の行事
7月 8日	3 歳児保育参観	親子の触れ合い	1月13日	3 歳児保育参観、給食試食	成長を喜ぶ、食育
7月14日	4歳児保育参観	親子の触れ合い	1月25日	4 歳児保育参観	成長を喜ぶ
7月17日	夏まつり	表現を楽しむ	1月28日	未満児保育参観(音楽遊び)	音と動きを楽しむ
7月22日	5歳児保育参観	親子の触れ合い	2月 1日	豆まき会	季節の行事
9月24日	未満児保育参観	親子の触れ合い	2月2日	5 歳児保育参観	子の成長を喜ぶ
10月3日	親子運動会	親子で運動を楽しむ	2月16日	4,5歳児運動遊び	運動遊びを楽しむ
10月 8日	新米おにぎりの会	食育	2月19日	2,3歳児運動遊び	運動遊びを楽しむ
10月 9日	さつまいも掘り	収穫を喜ぶ	3月 3日	ひな祭り会	季節の行事
10月11日	不審者対応訓練	危機管理	3月18日	卒園式	卒園を祝う
10月13日	以上児親子遠足	親子の触れ合い	3月19日	3,4歳児進級を祝う会	成長を喜び合う
10月21日	園小中合同引き渡し訓練	危機管理	3月22日	未満児進級を祝う会	成長を喜び合う
11月16日	総合避難訓練	危機管理	3月26日	離任式	感謝
12月12日	以上児発表会	表現を楽しむ			

毎月実施~誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診(7月、12月) 歯科検診(6月) 聴力、視力検査(11月) 園外保育~ りんごの花見,りんご狩り(果樹への関心~農業科学館) 各種公園、秋田ふるさと村、そり遊び 保護者会環境整備(6月、10月)

5. 職種別職員配置状況

(令和3年3月31日現在)

	園 長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	用務員	嘱託医	合 計
								薬剤師	
派遣職員			2						2
法人職員	1	2	1 5		1	3	1		2 3
有期職員				4					4
委託職員								3	3
合 計	1	2	1 7	4	1	3	1	3	3 2

*地域子育て支援事業 配置職員 1名

一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間 : 7時30分~18時30分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定 : 8 時 30 分~15 時 30 分	早出 1: 7時30分~16時15分
保育標準時間認定 : 7時 30分~18時 30分	早出 2: 8時00分~16時45分
保育短時間認定 : 8時30分~16時30分	日勤 : 8時30分~17時15分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間	遅出 : 9時45分~18時30分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

保育の専門性と保育の質の向上を目指して、外部研修に申し込んだが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、研修の回数が減り参加人数が縮小されたが、仙北市の研修会に参加し、市内の職員と交流を図りながら研修を進めることができた。

参加研修回数41回、延べ参加人数64名である。

(2) 園内研修

テーマを「一人一人が自己発揮し、生き生きと遊ぶ子どもを目指して」として各年齢の育ちを理解しながら、生き生きと遊ぶための環境の構成や保育者の関わりを探る。「生き生きと遊ぶ子どもの姿」を視点として事例を出し合い、小グループで話し合う。また、園内公開を行い、ワークショップ型による協議を行った。ファシリテーターや記録などを交代で経験できたことにより、勉強になり、しっかりと自分たちの課題が見いだされた。来年度はより具体的にテーマをもっと絞って取り組んでいくことにより、研修から見いだした成果、改善策を指導計画に反映していくことが今後の課題である。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を2回行う。自己評価を基に貴重な提言があり、今後の園運営につなげることができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議

(3) リーダー会議

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成~園長、副園長、主任、子育て支援、一時保育、学年リーダー)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月、10月)、安全点検、安全指導、

(2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保険調査、尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の病気の流行期には毎日玩具等)

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市預かり保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、15人

(2) 一般型

仙北市一時保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、11人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週木曜日 9 時 30 分から 11 時 30 分まで「なかよしルーム」を開催した。子育て中の保護者の交流の場として活用されている。参加者の声掛けにより、回を重ねるごとに参加者が増加し、好評である。 3 2 回開催。利用者人数は、延べ4 2 0 人(2 1 0 組)であった。

令和2年度 幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園事業報告書

1. 概況報告

社会福祉法人はなさき仙北になった一年目。開園式ではなさき仙北の名前の由来になった絵本「はなさき山」が贈呈され、それをきっかけとし子どもたちが「はなさき山」の歌を覚え、ことあるごとにその歌を元気に歌うようになった。職員もまた、はなさき仙北の理念のもと、園目標と重ね合わせながら子どもたちの育ちをしっかり支えていこうとする意識が強まった。小規模な園ではありながらも異年齢が自然に触れ合い、年齢ごとに育まれていく経験の積み重ができる環境であることが、園の特徴である。その様々な体験や経験がコロナで消滅されることのないように、職員全員が一丸となり、意見や考えを出し合い、できる限りの生活の確保を心がけて過ごしてきた一年だった。

(1) 教育・保育の充実

自園の園目標から下りて来る全体構想を全体で共通理解し、0歳児から5歳児までの育ちのつながりを図っていくようにした。また幼児期の終わりまでに育てたい10の姿を各学年の目の前の育ちに照らし合わせ、発達の課程を踏まえながら「育てたい資質・能力」の視点を明確にしていくと共に、その育ちを保護者、家庭、地域にも発信し、共に支えて育てていく協力体制をつくっていくことを心がけてきた。

(2) 食育指導

給食室は子どもたちから給食を作っている様子が見える。いい香りがしてくると「きょうの給食はなに?」と毎日の給食を楽しみにし、たくさん遊んだ後は、おいしい給食が待っているという期待が、子どもたちの生活、遊びの充実の源になっている。

子どもたちが作る「畑栽培」は収穫の喜びと共に、子どもたちの食に対する関心をより一 層深めている。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5 歳児	合 計
1号認定				2人	2人	2人	6人
2・3号認定	6人	6人	8人	8人	8人	8人	44人

3. 認定別・月別園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2・3 号認定	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 1	3 1	3 1	3 1	3 1	3 6 5
合 計	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 1	3 1	3 1	3 1	3 1	3 6 5

(単位:人)

4. 月別活動記録(園児分)

月日	活動内容	成果	月日	活動内容	成果				
4月 6日	開園式・入園式	入園を祝う	10月3日	親子運動会	親子で運動を楽しむ				
4月30日	4月誕生会	友達の誕生日を祝う	10月13日	10月誕生会	友達の誕生日を祝う				
5月14日	畑石苗記	畑栽培の準備	10月28日	3歳児園外保育	内陸線の遠足を楽しむ				
5月26日	さつまいも苗植え	畑栽培	11月 5日	4・5歳児園外保育	公共の場で遊ぶ				
5月30日	5月誕生会	友達の誕生日を 祝う	11月 6日	消防フェア総合避難訓練	災害時の避難の仕方 を知る				
6月19日	サッカー教室	体を動かして遊ぶ	11月20日	クレヨン広場	親子のふれあい				
6月25日	園外保育	自然に触れて遊ぶ	11月27日	総合避難訓練	災害時の引き渡し				
6月30日	6月誕生会	友達の誕生日を 祝う	12月11日 12日	発表会	自信を持って友達と 発表する。				
7月 7日	七夕会	季節の行事	12月16日	高齢者との交流会	地域との触れ合い				
7月 10日	サッカー教室	ルールを守って 遊ぶ	12月24日	クリスマス・誕生会	友達の誕生日を祝う				
7月17日	夏祭り	夏のお祭りを楽 しむ	1月 15日	餅つき会	季節の行事				
7月22日	7月誕生会	友達の誕生日を祝う	1月19日	1月誕生会	友達の誕生日を祝う				
8月30日	地域運動会	地域との交流(発表)	1月22日	そり遊び	雪を楽しむ				
8月31日	8月誕生会	友達の誕生日を 祝う	2月2日	豆まき	季節の行事				
9月18日	園外保育	自然に触れて遊 ぶ	2月10日	紙ふうせん上げ	地域の行事を大切にする				
9月25日	サッカー教室	体を動かす	3月3日	ひなまつり・誕生会	けいらんを 作ってお祝いする				
9月 30日	9月誕生会	友達の誕生日を祝う	3月13日	卒園式	大きくなった自覚を もつ				
	毎月実施~安全指導・避難訓練は毎月実施 内科健診(6月、11月) 歯科検診(6月) 聴力、視力検査(7月) 保護者会環境整備(7月、9月)								

5. 職種別職員配置状況

(令和3年3月31日現在)

	園上	Ē	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医	合 計
										薬剤師	
派遣職員		1		1							2
法人職員			1	1 1		1	1				1 4
有期職員				1	1		1	1			4
委託職員										3	3
合 計	1		1	1 3	1	1	2	1		3	2 3

^{*}地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間 : 7時30分~18時30分	勤務体制・勤務時間				
教育標準時間認定 : 8 時 30 分~15 時 30 分	早出 : 7時 30分~16時 15分				
保育標準時間認定 : 7時 30分~18時 30分	日勤 : 8 時 30 分~17 時 15 分				
保育短時間認定 : 8時30分~16時30分	遅出 : 9時45分~18時30分				
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間					

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、予定していた研修が中止になったり内容が変更になったりしたものもあったが、リモート研修を含め、開催された研修には積極的に参加し、キャリアアップに努めた。参加研修回数27回であった。

(2) 園内研修

テーマを「10の姿を視点にした育ちのつながりを考える」とし、10の姿の項目の内容を各年齢の育ちと照らし合わせながら研修を深めた。育ちの連続性とねらいに沿った環境の構成を話し合うことで、それぞれの指導計画の作成の改善にもつながっていった。研修をスムーズに進め、深まる内容にしていくためのファシリテータの役割に対しては課題が見つかったが、今後の研修に活かし、より深めていこうとする意欲となっている。

また特別支援委員会の中では、園児の特性に合った保育教育を進めていくために園全体でその方向性を共通理解していくようにした。インクルーシブ教育システム推進事業、専門家・支援チームにおける巡回相談を2回開催し、園児に対しての適切な指導・援助のアドバイスをいただいた。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

今年度はコロナ感染症拡大防止に伴い、学校評議員会は2回となった。2回目は職員の自己評価や保護者アンケートの集計を基に貴重な意見をいただき、今後の園運営の方向性を確認することができた。

(2) 職員会議

定例会議(毎月)、各委員会会議、行事担当者会議、特別支援委員会

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。(メンバー構成~園長、副園長、子育て支援、一時保育担当者)

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の 進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

- (1) 災害訓練、避難訓練(毎月)、総合避難訓練、安全点検、安全指導
- (2) 健康管理

園児:内科検診(5月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

脊柱・運動器保険調査、尿検査、視力・聴力検査(3 歳以上児)

職員:健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者(ノロウイルス検査6回)全職員の検便(年2回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒(感染性の病気の流行期には毎日玩具等)

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施しているが利用者はなし。

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、9人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週火曜日9時30分から11時30分まで「さくらんぼルーム」を開催した。コロナ禍であることもあり、積極的な動きはできないところもあったが、これまで利用者があまりなかったさくらんぼルームに少しずつ利用者が出てきたことは変化であった。25回開催で利用者人数は延べ10人であった。

12. 地域との連携(園・小・中の連携)

隣接されている社会福祉協議会との連携もあり、地域の高齢者の方との触れ合いを大事にしている。上桧木内地域のいきいきサロンの方たちとの交流会や、多世代交流とし、講師を地域の方に依頼し、触れ合いを持ちながら様々な教室を開催した。

小・中学校とは秋には合同で地域運動会を行い、冬にはコロナで開催できなかった上桧 木内の紙ふうせん上げを中学校グランドで園・小・中合同で開催するなど、感染対策をし ながら地域の中でできることを実践した。